

東京日日新聞大錦

一蕙齋幾畫圖 數跡續

編輯記者六名左ノ
大間ニ境界ヲ設ケ戲号ヲ掲ク

山々亭有人

知見と擴充ノ開化と進歩ノ新聞ト無若
該有益ありハ更ニ喙と容とらハと投書ノ
論ヲ始メ記五定例ノ文章ヲ撰リ童蒙
婦女ノ勸懲ノ道ヲ教一助メと思ハ付
る版元カ家居ニ近キ源治店ノ名譽ハ夷
國芳翁カ門弟中ノ一蕙齋幾大人ハ多

點化老人

○端より。壬申己未揮毫と断ら妙手と
癸ノと惜しハ中絶めて採出ハ先生
自ら拙劣ノと謙遜して言ハ中ノ一往昔
ハ弥増す巧ノ丹青写真ハ逼る在走リ。

新聞

穿ち白弊と
洗つて日毎

温克堂 龍吟

④小組換る。鉛版器械の運持より。神速を競ふ
て昨日の椿重と。今日発兌す日々新聞各府
縣下の義士貞婦孝子の賞典光徒の天誅冠
化ノ導ノ巷談術説遺漏ことあハ畫され

百九里散人

⑤ハ數子とつて後で御贖未愛顧と冀

山人

⑥ヤと歳揮主ノ換く寸言と陳述
る去ハ東京木挽坊ノ寄寓する隱士

轉々堂主人



印刷
東京人龍馬通り
地本繪堂紙問屋
具足屋嘉兵衛
定價 一葉二冊
壹錢六厘

渡辺彫采